

無料ウェビナー開催

日本の健康経営は海外で どこまで受け入れられるのか

— 日本の実践とインドPoCから考える
海外でも機能する健康管理モデルとは —

Flora株式会社
クレジエジョ・アンナ

独立行政法人国際協力機構 (JICA)
佐藤 里衣

Digital Platformer 株式会社
松田 一敬

Medical Excellence Japan (MEJ)
野口 昌克

2026

2/16 月

15:00-17:30

開催方法 オンライン/対面

参加費 無料

定員 先着100名

インドにおける実証で見えた現実（何が違う、何が通用し、何が難しいのか）を対比しながら、専門家の視点を交えて、「海外でも機能し得る健康管理モデルとは何か」を実務的に整理します。自社の健康経営を見直し、将来のグローバル展開や人的資本経営にどう活かせるかと一緒に考えてみませんか？

こんな方におすすめ

- ☑ 日本企業の経営層／人事・人材開発
- ☑ サステナビリティ／新規事業担当
- ☑ ヘルスケア、HR Tech、医療・データ関連事業者
- ☑ 官民連携・海外展開に関心のある実務者

ウェビナー内容

- 日本の健康経営の仕組みと企業が取り組む理由
- 日本企業とインド/東南アジア企業の違い
- 健康に対する意識の違い
- PoCでの検証結果：通用した点／通用しなかった点
- 海外でも機能し得る健康管理モデルの仮説

お申し込み・
ウェビナーの詳細
はこちら



 flora

お問い合わせ先

admin@floramaternity.com

企業情報
こちら→

